

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	オース	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.470	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：オース

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

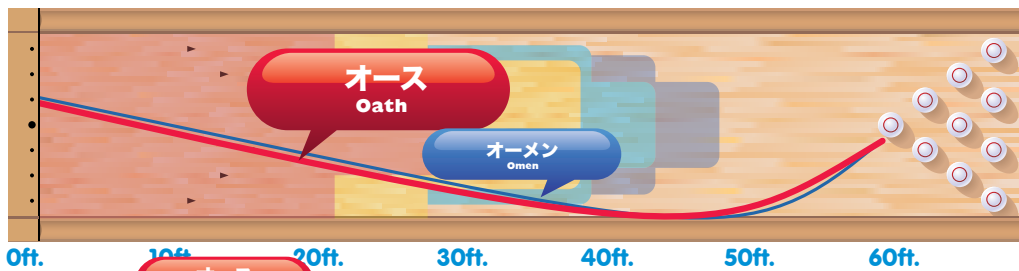
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：オーメン

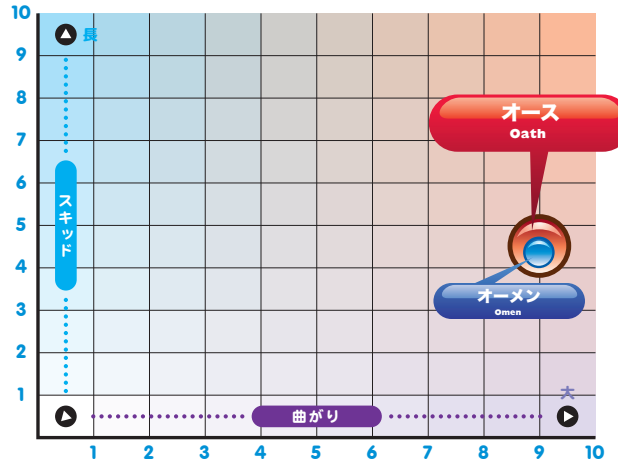
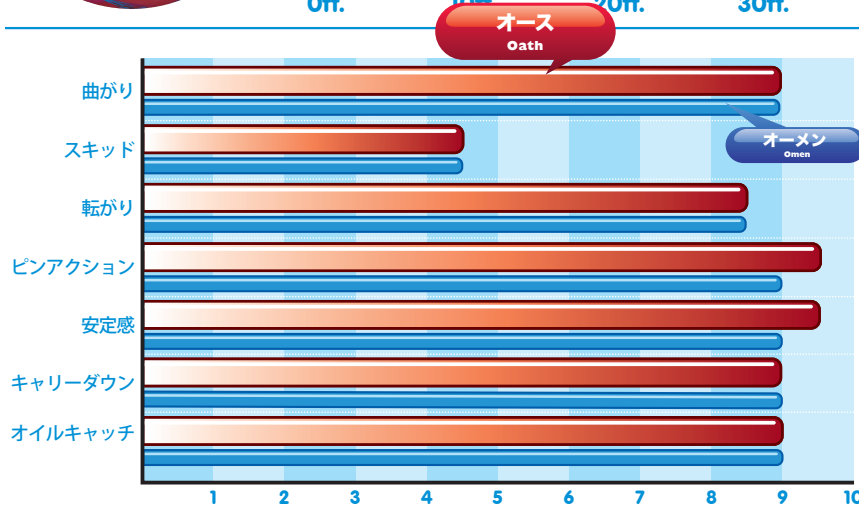
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

コロムビア社はカバーストックの新たな局面を先に発売したOmenで表し、オイルに対しての強さとバックエンドのメリハリの利いたシャープにも感じられる性能で、リーグボウラーからトーナメントプロに至るまで高い使用率も頷ける高評価を得ることができました。今回リリースされる”Oath”は、Omenの”Bend It Pearl!”のパール素材から”Bend It Solid”のソリッド素材に変わったことで、よりオイルに対しての安定感は増し、Omenより積極的にオイルの上を投球することができます。そしてOmenでも採用されている低いRGのCapsuleコアは、早く回転速度を上げ、高いDifferentialは大きなバックエンドモーションへと変わります。

私がこのOathを投球して感じたことは、「多用途に使うことができる」ということでしょう。自分で動き幅を調節しやすいというか、回転軸によって曲り幅も変化させやすくコントロールできるイメージが前面にでていまして、直感的にコロムビア社専属の「クリス・バーズズの為に作られたボール」と思うほど、実用的で多機能に仕上がっています。「しっかりと曲がってくるけど暴れず、キッチリとポケットに対する入射角は確保できる」イメージや、低く柔らかいピンアクションはMagnetiteコア搭載というのも頷けます。私は前作Omenもかなりのお気に入りでしたが、このOathの前では霞んでしまうほど今シーズン1・2を争う注目のボールと断言できるほど素晴らしい出来栄です。”Oath(誓い)”として、きっと私と同じイメージをユーザーにも感じて頂けることでしょう。

特記事項

非の打ちどころがない、キャッチ、スキッド曲りのバランスの良さが最高のピンアクションまでも演出します。まずはこの最高峰のボールを試す価値アリです。